

麻布大学同窓会鳥取県支部総会(報告)

令和8年9月19日(土)、倉吉市内の居酒屋にて令和8年度麻布大学同窓会鳥取県支部総会を開催いたしました。

本年度は大学本部より、旧・家畜衛生研究室の押田敏雄名誉教授を特別ゲストにお招きし、総勢11名(男性8名、女性3名)の会員が集いました。参加人数こそ少人数ではございますが、会場には押田名誉教授と同級生の会員も駆けつけ、旧友との再会に華が咲く非常に濃密な時間となりました。大先輩から若手会員まで世代を超えた「麻布の絆」を感じながら、終始和やかで賑やかな歓談が繰り広げられました。また、本年は数年ぶりにフレッシュな新入会員の参加があり、例年以上に盛り上がりを見せました。

全国的な課題でもある会員の高齢化に伴い、支部活動の継続や運営面において模索する場面もございます。しかしながら、今回の総会のように熱意ある会員同士がしっかりと顔を合わせ、絆を深め合える場があることの重要性を改めて実感いたしました。

今後も少数精鋭ではございますが、伝統ある「麻布魂」を絶やすことなく継承し、賛同いただける会員の皆様と深く連携しながら、より一層温かく魅力ある支部づくりに努めてまいりたいと考えております。

最後に、麻布大学同窓会の今後ますますのご発展と、全国の会員の皆様のご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げ、支部総会のご報告とさせていただきます。

鳥取県支部事務局 大下 雄三

